

キリンビバレッジ株式会社 滋賀工場 (多賀町)

プラスチックごみを減らそう！

PETボトルリサイクルの取り組み

キリンビバレッジ(株)滋賀工場は、2014年1月に、西日本における清涼飲料の生産拠点として誕生しました。長年培ってきたキリングループの基本姿勢である「品質本位」「お客様本位」のもと、お茶、コーヒー、炭酸など様々なペットボトル製品を製造し、西日本を中心としたお客さまにお届けしています。

現在キリングループでは、「PETボトルが循環し続ける社会」の実現に向けた取り組みを推し進めています。2019年には「キリングループプラスチックポリシー」を策定し、2027年までに日本国内におけるPET樹脂使用量の50%をリサイクル樹脂とすることを宣言しました。

具体的な取り組みとしては、再生PET樹脂を100%使用した「R100ペットボトル」の採用を順次拡大しています。「午後の紅茶」や「生茶」等の主要な製品は、「R100ペットボトル」を使用しております。

ソフトドリンク



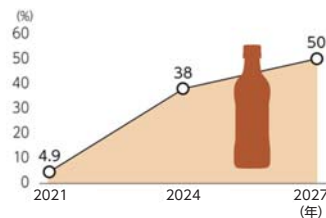
再生PET樹脂は、一般的な石油由来PET素材に比べて石油由来樹脂使用量を90%、温室効果ガス排出量を50~60%削減することができるため、非常に大きな削減効果につながります。

「R100ペットボトル」では、再生PET素材をPETボトル原料として使用する「メカニカルリサイクル」の技術を採用していますが、使用済みPETボトルのみを対象とした循環リサイクルになります。今後は、使用済みPETボトル以外のPET製品もPETボトルとして再生が可能となる「ケミカルリサイクル」の実用化を検討しています。

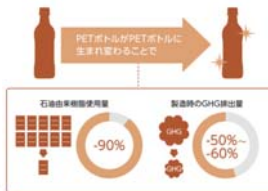
プラスチックポリシー

2027年までに日本国内におけるPET樹脂使用量の50%をリサイクル樹脂とする。(2020年時点では6.2%)

リサイクル樹脂使用比率目標



リサイクル樹脂を使用した場合の効果



キリンビバレッジ株式会社 滋賀工場

住所: 滋賀県犬上郡多賀町敏満寺1600番地 TEL:0749-48-7115 FAX:0749-48-1659

HP: <https://www.kirin.co.jp>

設立: 2014年1月 資本金: 84億1,650万円 (キリンビバレッジ(株) 資本金)

事業概要: 2014年1月 2つのペットボトル商品製造ラインを持つ西日本の清涼飲料生産拠点として誕生しました。年間約1,900万箱のペットボトル商品を製造しています。プリフォームと呼ばれる素材からペットボトル容器を成形し、無菌状態で充填する「インラインブロー無菌充填システム」を導入しています。食品安全システムに関する国際規格「FSSC22000」の認証取得及び「廃棄物ゼロ」「再資源化率100%」を実現しています。

キリングループは業界を挙げて3Rを推進し、廃棄物再資源化100%達成に向けて取り組んでいます。プラスチックポリシーを実現しプラスチックが循環し続ける社会を目指してまいります。 製造担当 白木佳代子 さん



工場見学のご予約